

春の連休期間中における山岳遭難に係る警察措置について

山岳遭難

春の連休期間中（4月29日（金）～5月8日（日）の10日間）の山岳遭難の発生状況は、発生件数155件、遭難者180人。うち、死者10人、負傷者80人、行方不明者7人。

○全国における山岳遭難発生状況（平成29年以降）

	期 間	発生件数 (件)	遭 難 者 数 (人)			
			死者	負傷者	行方不明者	
令和4年	4/29～5/8 (10日間)	155	180	10	80	7
令和3年	4/29～5/9 (11日間)	157	191	26	54	3
平成31年・令和元年	4/27～5/6 (10日間)	164	207	23	76	1
平成30年	4/28～5/6 (9日間)	165	187	13	74	8
平成29年	4/29～5/7 (9日間)	167	190	27	84	2

※ 表中の発生件数、遭難者数については期末現在のもの。

令和2年の春の連休期間中は集計しなかったため広報なし。

なお、令和2年4月25日から5月6日までの間の山岳遭難の発生状況は、発生件数80件、遭難者89人。うち、死者17人、負傷者29人、行方不明者0人（令和2年中の統計から抽出）。

○警察措置

警察では、山岳遭難救助隊員等延べ900人を投入し、ヘリコプターは44回出動させ、捜索救助活動を行った。